



POST CARD



松本五郎・菱谷良一 無二の親友展

2019年11月5日(火)~12月21日(土)



松本五郎『無二の親友』

松本五郎・菱谷良一
無二の親友展

2019年11月5日(火)~12月21日(土)

「自画像」
1940年「赤い帽子」
1943年

松本五郎

1920年 鳥取県出身
音更町在住

菱谷良一

1921年 旭川市出身
旭川市在住

ギャラリー 北のモンパルナス

営業日：火曜～土曜
営業時間：AM11:00～PM6:00
定休日：日曜・月曜・祝日〒063-0804
札幌市西区二十四軒4条3丁目3-16
アートヒル琴似102
(札幌第一病院 東ならび)
地下鉄琴似駅5番・6番出口から徒歩5分
TEL(011)302-3993ブログアドレス <http://ameblo.jp/kita-mont/>

1941年9月20日、旭川師範学校の美術部員だった松本五郎さんと菱谷良一さんは、治安維持法違反の罪に問われ検挙されました。これに先立ち、同年1月10日には同校の美術教師・熊田満佐吾さんが検挙されています。生活凶画事件です。それは1940年の北海道綴方教育連盟事件に連なる警察権力による道内教育関係者への弾圧でした。

読書し語らい、レコードコンサートを楽しむ学生達…二人が描いたのは日常生活を真摯に見つめ、より良いものにしていこうと励む若者の姿でした。時の権力はそれらの絵を「民衆に共産主義を啓蒙し国家への反逆心を煽るもの」とであると決めつけ、二人は特高警察による過酷な取り調べと調書捏造の末に、1年3ヶ月もの間旭川刑務所に投獄されてしまったのです。

出獄し、徴兵され軍隊に入り、戦後を迎えて今日に至るまで、松本さんと菱谷さんは一貫して絵筆を握り日々の暮らしをキャンパスに描き続けました。

生活凶画事件から78年経った今、二人の絵は、私達に多くの事を示唆してきます。そこには過去からの証言と現在・未来への希望とが存在するのです。

ギャラリー 北のモンパルナス 田中みずき



松本五郎『音更川沿いスキーコース』



菱谷良一『パルミラの遺跡』